

5

●

●

●

●

F-0174

0058



綜合情報 第六六號
昭和七年二月二十日

總務部 調査課 長

上海事件經過記錄 (秘)

本篇ハ上專長報

S 61927 781

目次

1	事件勃發直前	1
2	戦局日誌	8
	自一月廿八日	
	至二月六日	
3	經濟日誌	36
	自一月廿八日	
	至二月十二日	

S 61927 782

F-0174

0059

1、事件勃發直前

萬寶山事件ニ端ヲ發シタ抗日運動ハ、奉天事變以後恰モ狂炎ノ荒ルルカ如ク、未曾有ノ激烈サヲ極メ、從テ昨年九月—十二月ノ四ヶ月間ニ於ケル我對支輸出貿易ノ如キ、一九三〇年同期ニ比シ、實ニ六割四分減トイフ驚異の慘狀ヲ現出シタノテアツタ。商工省調査ニ而シテ抗日運動ニヨル打撃ハ、勿論獨リ貿易上ニ留マルモノニアラスシテ、周知ノ通り到ル處在支邦人ノ營業妨害、生命財產ニ對スル侵害カ頻々トシテ行ハレタノテアルカ、特ニ邦人居留者ノ最モ多キ上海ニ於テ、ソレカ甚シカツタ。投資額二億數千萬圓ニ上ルト稱セラレル紡績工場ハ三ノ四割ニ及フ大操短ヲ以テシテ、尙製品ノ大部分ヲストツクセネハナラス、上海工業會社加盟ノ百餘ノ中小工場ハ過半閉鎖シテ辛フシテ五割以上ノ操業ヲ支フルモノ僅ニ十指ヲ屈スルニ過キナイ状態ニ立チ到ル等邦人經濟界ノ困憊想像以上ニシテ既ニ昨年十一月—十二月ノ頃ニハ、全ク

S 61927 783

2

衣食ノ道ニ窮セルモノ、邦人居留人口總數ノ約一割九百家族三千人ニ及ンタ。加之此間支邦人ニヨツテ邦人ニ加ヘラレル惡戯暴行頻々トシテ日支ノ惡感情ヲ鄂カ上ニモ激發シツツアツタカ、新年勿々不敬事件邦人慘殺事件等相次クニ及ヒ邦人ヲシテ極度ニ憤激セシムルニ至ツタ。他方關北一帶ニ集結セル支邦軍隊モ一月廿四、五日頃ニハ着々陣地ヲ構築シテ三千ニ餘ル便衣隊ヲ組織スル等敵對ノ姿勢ヲトリ假令支邦側カ廿八日ニ於ケル我カ要求ヲ完全ニ容ルルトモ早晚日支ノ衝突免レサルヘシト思ハルル形勢ニアツタ。即チ、一月九日國民黨上海市黨部機關紙民國日報ハ鮮人李奉昌ノ大逆事件ニ關シ「不幸ニモ儘ニ則車ヲ炸烈セシノミ」云々トノ不敬極マル標題ヲ掲ケ村井總領事ヨリ市政府ニ嚴重ナル抗議ヲ提出シタカ十二日吳市長ハ文書ヲ以テ「民國日報ノ標題ハ不注意ノ甚タシイモノテアルカ、不敬ノ念ヲ以ツテセルモノニアラス但シ充分注意ヲ喚起シ置ケリ」トノ無誠意ナル回答ヲ寄セタ爲、村井總領事ハ十三日附責任者ノ處分、字句ノ訂正及陳謝ヲ要求セル再抗議ヲ提出シ一方鎮激セル在滬邦人ハ總領事館ノ微温的

S 61927 784

態度ヲ手緩ルシトシテ十五日各路聯合會緊急總會ヲ開キ上海市長吳鐵城氏ニ期限附回答ヲ求ムヘキコト、右回答ナキ場合ハ直チニ在留民大會ヲ開催スルコト、實行委員十五名ヲ擧ケ之ニ其ノ目的貫徹ノ方法ヲ任スル事等ヲ議決シ十六日決議文ヲ總領事ニ手交シタ。

尙在郷軍人支部セ同僚ノ聲明書ヲ總領事ニ提出スル處カアツタ。同日村井總領事ハ市政府ニ吳鐵城ヲ訪問シ、事件ノ重大性ヲ指摘シテ、要求條件ヲ速ニ履行サレ度イト嚴談シタルニ對シ、吳市長ハ「民國日報、政府ノ注意ニヨリ、十六日ノ紙上ニ取敢ヘス。釋明文ヲ載セテ謝意ヲ表シテキル」日本側ノ要求條件タル陳謝ト處罰ハ目下具體的方法ヲ打テ合セ中テアルト釋明シタ。カ十六日ノ民國日報ハ單ニ「不幸」ノ文字ハ、日本元首ヲ侮辱ノ意ナシ。用字不十分ノ爲總領事館方面ノ誤解ヲ惹起セルハ遺憾テアルトノ敷衍ノ申譯の文句ヲ掲載セルニ留マリ、上海邦人ノ感情ヲ緩和スルニ至ラザカツタ。越エテ十八日、村井總領事ト吳鐵城トノ再會見ニ於テ

一、吳市長ハ民國日報社長ヲ招致シ親シク戒告ヲ加シ將來再此種



61927

785

ノ事件ノ發生ヲ繰リ返ササル事ヲ保障セシメ、其ノ結果ヲ總領事ニ通知スルト共ニ市長トシテ總領事ニ對シ遺憾ノ意ヲ表スル公文ヲ送致スルコト。

二、直接責任者タル記者ヲ民國日報社長ニ於テ、嚴重ナル處分ニ附シ其旨市長ニ申報シ、市長ヨリ總領事ニ通報スルコト。

三、本件記事標題ノ取消及陳謝ノ意ヲ表スル記事ヲ掲出スルコト。

ノ條件ヲ以テ解決スルコトニ決定シタ。

然ルニ十八日午後四時頃市内江灣路屈家橋日本山妙法寺僧侶天崎啓昇、同水上秀雄、信者黒岩淺次郎、藤村國吉、後藤芳平ノ五名カ舉行托鉢ヲ終ヘ歸山ニ際シ近道ヲ辿ルヘク、租界外引翔港ニ差掛ツタ際「日本人ヲ殺セ」トノ喚聲ノ下ニ排日テ有名ナタオル工場三友實業社職工（約二百名ト稱セラル）ノ襲撃スル處トナリ何レモ重傷ヲ負ヒ水上秀雄ハ二十四日臨民病院ヲ遂ニ死去シタ。之ニ憤激セル同志會員十數名ハ二十日午前二時三友實業社ヲ襲撃シ、巡警ト大鬪闘ヲナシ双方死傷ヲ出シタ。村井總領事ハ同日午後



61927

786

一、市長ノ陳謝
 二、加害者ノ懲罰及ヒ處罰ヲ速ニ行フ事
 三、被害者ニ對シテ慰料治療費ヲ負擔スル事
 四、徹底的ニ排日取締ト排日團體ヲ即時解散スル事
 五、四項ヨリ成リテ抗議ヲ提出シタカ、打撃ノ事件ニ憤激セル邦人ハ、日本人俱樂部ニ全上海居留民大會ヲ開催、連ニ陸海軍ヲ派遣シ、自衛權ノ發動ニヨリ抗日運動ノ絶滅ヲ期スヘシ、一ノ決議ヲトシ、餘憤醒メサル過半ノ會衆ハ、レヨリ總領事館、陸戰隊本部ニ陳情スヘク邦人最初ノデモンストレーションヲ行ヒ、北四川路支那商ノ排日傳單ヲ貼付セル節窓硝子ヲ破壊シ工部局巡警ト小競合ヲ演スル程ニ熱狂シタ。

S 61927 787

廿一日午前、村井總領事ハ上海市政府ヲ訪問、吳氏ニ廿日提出ノ實行方ヲ迫ル所アリ之ニ對シ前記三項ハ直ニ承諾シ得ルモ、排日團體ノ解散ハ即答シ得サルヲ以テ、南京政府ニ請訓ノ上最後ノ回答ヲナスヘントノ口約ヲ得タ。尙同日第一選外艦隊司令官ハ、連ニ満足ナル回答竝其ノ履行ヲ要望シ、之ニ反スル場合ハ帝國ノ權益擁護ノタメ適當ト信スル手段ニ出ル決心ナリトノ聲明書ヲ發表シタ。

然シ支那側トシテハ、排日團體ノ解散ハ帝國奴トシテ民衆ノ攻撃ノ的トナルコト必然ナルヲ以テ最後の通牒ヲ發セラレルニ至ル迄容易ニ決シ兼ネタ大問題テアツタ。即チ南京政府ニ於テハ對日國交斷絶ヲ敢行セントスル陳友仁ト自重論ノ蔣介石ノ衝突アリ、遂ニ廿五日陳外交部長ノ辭表提出トナツタカ上海ニ於テモ亦上海財界ノ破産ヲ怖ルル者ハ日本ノ要求ニ從フヘント主張スルニ對シ、上海市商會ノ王曉籟一派ハ新ニ商界抗日救國會組織ニ着手スル等其歸趨ヲ知ルコトカ出來ナカツタ。

カカル空氣ノ中ニアツテ、不見識極マル民國日報ハ二十一日紙上ニ「三友社襲撃ハ日本陸隊隊護ノ下ニ行ハレタ」トノ捏造記事ヲ掲ケテ、

S 61927 788

益々邦人ノ憤激ヲ買ヒ最早許スヘカラサルノ惡感ヲ持タシメタ、陸戰隊ハ直ニ民國日報ニ謝罪ヲ要求セルカ言フ左右ニシテ應セザリシヲ以テ、更ニ期限附回答ヲ要求シ、若シ肯カサレハ實力ヲ以テ閉鎖スヘキヲ通達シタ。然ルニ同報社員ハ何レカニ委ヲ穩シ、秘ニ移轉中ナリト轉ヘラレタ。ルヲ以テ陸戰隊ニテハ愈々實力閉鎖ヲ行フコトニ決シタカ、工部局カ陸戰隊ニ代ツテ自ラ閉鎖スヘキコトヲ申出タルヲ以テ一先之ニ一任シタ。廿五日工部局ハ支那側ヲ除ク市參事會ヲ開催、民國日報ノ閉鎖、抗日團體本部ノ封鎖ヲ行ヒ對民國日報問題ハ一段落ノ形トナツタ

然シ排日團體即時解散ニ對スル吳市長ノ回答未タ無キ爲、二十七日村井總領事ハ廿八日午後六時ヲ期限トスル最後の通牒ヲ發シ、事態極度ニ緊張、廿八日午後我要求全部承諾ノ回答カ齊ラセラレ我當局又満足ノ意ヲ表セルカ、既ニ戰備ヲ整ヘタル支那軍ト便衣隊ニ備フヘク我陸戰隊ハ警備ニ着クヘク行進中到ル處ニ於テ不法ナル發砲ヲ受ケ遂ニ交戦ノ止ムナキニ至ツタ。

S 61927 789

3、戦局日誌

一月二十八日

外交

○中國側ノ我要求全部承認ノ回答方愈市政府秘書長ノ手ニ依リ齎サル
○右ニ不拘市政府ハ學生團ニ占領サレ開北一帶ニハ中國軍陸路トシテ増派サル

軍事

○魏澤軍司令官ハ遂ニ左ノ如キ布告ヲ發表
「我海軍ハ工務局ノ發セル戒嚴令ニ依リ警備擔任區域内ノ直接治安ニ任スルコトトナレリ、戒嚴中擔任區域ニ於テ時勢ニ妨害アリト認ムル集會ヲ停止スル外戒嚴施行上必要ト認ムル諸件ヲ執行スルコトヲ布告スル」
「目下ノ上海ハ租界内外ヲ問ハス人心動搖シ形勢不穩ニシテ刻々惡化シツツアリ工部局ハ戒嚴令ヲ布キ各國軍モ亦警戒ヲ嚴ニシツツ

S 61927 790

警備

○共同租界ノ警備ニ關シ租界市參事會員ハ日英米佛伊各國軍部主腦者ト會議ノ結果午后四時ヨリ戒嚴令ヲ布キ租界警備軍指揮官ニ英國駐屯軍ノフレミン大佐就任工部當局ハ次ノ如キ布告ヲ發表

「共同租界市參事會ハ與ヘラレタル權限ニヨリ一月二十八日午後四時ヨリ戒嚴ヲ布クコトヲ布告シ租界内ノ秩序ト行政維持ノタメ必要ナル總テノ手段ヲ採用スルコトヲ許可ス」

○佛租界亦全樣戒嚴令ヲ布ク

○租界警備ノ擔任大體次ノ如シ

- 1、日本海軍ハ虹口ヲ中心トシ蘇州河黃浦江ヲ境トシ北部東部一帯ヲ擔任
- 2、英國ハセントラル方面
- 8、米國ハ西部方面

S 61927 792

アリ、帝國海軍ハ多數邦人ノ居住スル開北一帯ノ治安維持ニ關シ不安ヲ認ムルヲ以テ兵力ヲ配備シ之カ保安ニ任セントス本聯ハ開北方面ニ配備セル支那軍隊ノ敵對施設ヲ速ニ撤センコトヲ支那側ニ要望ス」

○右聲明ニ基キ我方ハ中國側ノ排日取締リノ行動監視及ヒ居留民保護ノ爲メニ軍事行動ヲ起スニ決定午後十一時二十分陸戰隊本部ニ於テ出勤命令下リト同時ニ北部小學校ノ第三大隊内外綿水月俱樂部ノ分モコレニ呼應出勤

○軍機大井ノ陸戰隊二〇〇名上陸吳淞路、乍浦路文路方面ノ警備ニツク常駐ノ分一五〇名ハ中部校ニ着着ク

○二十九日〇時陸戰隊本部附近並ニ滬滬鐵道沿線一帯ニ於テ夜ニ火蓋ヲ切ル

○激戰地帯

虹江路、六三團附近、東寶興路

S 61927 791

外 交
一月二十九日

本朝我軍部當局ハ次ノ如キ聲明書ヲ發表セリ

一、今回ノ日支軍隊衝突ハ租界内外不穩ノ情勢ニ鑑ミ我軍力在留邦人保護ノタメ已ムヲ得ス必要ナル保護配備ニ就カントスル際支那軍隊力進出シテ武力挑戦シタルニ起因ス我軍ハ極力事件ノ擴大ヲ防止スルタメ事前ニ各種手段ニヨリ支那軍隊ノ和平撤退ヲ勸告セシニ不拘支那軍隊力挑戦行爲ニ出テ事件ヲ益ニ立至ラシメタルヲ遺憾トス、支那軍隊力速ニ我邦人居留區域附近ヨリ撤退センコトヲ外交使節ヲ通シテ要求中ナリ、

○上海市長吳鐵城ハ開北ニ於ケル彼我衝突事件ニ關シ村井總領事宛次ノ如キ抗議ヲ提出

一、本市長和平解決ヲ求メ本市ノ安寧ヲ保ツタメ既ニ日本總領事ノ提出ニカカル四ヶ條ノ要求事項ヲ完全ニ入ルル旨本日(二六日)午後一時四十五分文書ヲ以テ回答貴總領事ハコレニ満足ノ意ヲ表

S 61927 793

シタルニ拘テス市政府公安局ハ二十八日午後十一時二十五分日本第一遣外總領司令官ノ本市長及公安局長宛通牒各一通ヲ内封セル貴方ノ公文ヲ接受シタ、右公文ノ内容ハ、帝國海軍ハ多敵邦人カ開北一帶ニ居住セルニ鑑ミ同方面ノ治安維持ノタメ軍隊ヲ配置スルカヲ中國側ノ軍隊及ヒ其ノ敵對施設ヲ速カニ撤去サレタイトアリ次イテ十二時ニ至ルヤ公安局ハ開北ヨリ同處ノ日本海軍陸戰隊ハ軍事行動ヲ開始シ華界ニ向ツテ進攻シツツアリトノ報告ニ接シタ。惟フニ貴總領事カ本市政府ノ回答ニ満足ノ意ヲ表セサルニモ拘ラス、貴國海軍側ニ於テ突如コノ種ノ軍事行動アルハマコトニ驚クニタヘサルトコロテアル、從テ平和ヲ破壞シ本市ノ安寧ヲ妨碍スルノ實ハ全部日本側ヨリ負フヘキモノテアルヨツテ茲ニ貴總領事ニ對シテ嚴重ナル抗議ヲ提出スル一方貴總領事ヨリ海軍側ニ通知シテ速カニ軍事行動ヲ停止シ事態ノ擴大ヲ免レシメラ

S 61927 794

○右抗義提出ト同時ニ吳市長ハ該抗義文ノ寫シヲ英米佛伊四ヶ國總領事ニ送ツテ各國カ今回ノ事件ニ對シ公道ヲ持スル様希望スル處アリ

○田代公使館附陸軍武官ハ戰況ノ重大化ニ鑒ミ本日午前陸軍省へ軍隊派遣方ヲ電請(機密)

○佐世保待機中ノ龍田第二十六驅逐隊四隻陸隊除若干名ニ出動命令下リ上海へ向ケ急行セリトノ報アリ

○支那側ノ消息ニヨレハ國民政府ハ南京駐屯ノ第三師ニ對シテ動員令ヲ下シ淞滬防衛ノ第十九路軍ハ協力セシムルコトトナツタト報ス

更ニ一説ニハ二十八日千五百名ノ援軍到着同日深更三千五百名南京ヨリ到着セリトノ報アリ。(我陸軍ノ觀測ニヨレハ上海ノ周圍ニケル敵正規軍八千)

○我軍ハ本朝五時迄ニ完全ニ豫定ノ警備區域ニツク。

S 61927 795

○午前十一時頃ヨリ我軍ハ爆發機二臺ヲ以テ北停車場附近、滄務印書館工場、湖州會館、淞滬鐵道沿線等一帶ニ亘リ爆發スルト共ニ、北四川路文路、其他警備區域内ニ於ケル便衣隊狩ニ奔走、午后四時ニ至リ英米領事カ入道上ノ立場ヨリ雙方ニ勸告アツタ我軍ハ防備線ニツキタルママ休戦夜ニスル

經濟

○本朝六時ヲ以テ、邦人經營紡績工場全部閉鎖ス、工人ノ動搖ナシ

○上海各市場ハ完全ニ取引ヲ中止

S 61927 796

一月三十日
外交

○昨日英米領事ノ勸告ニヨル休戦ヲ無視セル本朝ノ不法攻撃ニ因シ我
總領事ハ英米側ノ了解ヲ求メタ上、懲撃ニ決定

○休戦申込中ノ支那軍ハ本朝突然攻撃シ來リタル爲流彈ハ北四川路砲
子路、吳淞路方面ニ落下、午后ニ至リ支那側ヨリ我軍ニ對シ本朝ノ
攻撃ハ命令不徹底ニ基クモノナレハト陳謝シ來リタル爲再ヒ休戦夜
ニ入ル

○龍田午后四時入港、陸戦隊四百六十名上陸、配備ニ就ク

○中國側ノ情報ニ依レハ北停車場ニ到着セル願祝同軍ハ約一萬

經濟

○二十九日ノ市商會決議ニ依リ本日ヨリ租界ノ内外ヲ間ハス總罷市斷
行

S 61927 797

一月三十一日
外交

○重光公使歸任

○昨日ヨリ引續キ英國總領事館ニ於テ、米國總領事立會ノ下ニ村井總
領事ト吳鐵城トノ間ニ休戦ニ關スル協議開カル

右協議ニ於テ日本側ヨリ支那側ニ對シ、中國軍ノ着弾距離以外ノ地
點迄ノ撤退ヲ要求セルカ夜ニ至ルモ何等回答ナシ

○外人方面ノ對日空氣漸次悪化シ來ルモノ如ク日本軍ノ北停車場
攻撃ヲ別トシ、大多數ノ意嚮ハ支那側カ二十八日ニ於テ無條件ニ日本
側ノ要求ヲ容レタルニモカカハラス直チニ軍事行動ヲトレルコト其
ノ結果租界内ノ秩序大イニ紊レツツアルコトニ對シ甚シク惡感情ヲ
懷キツツアリ

軍事

○北江路、寶興路、同濟路方面一帯ニ於テ支那軍ヨリ休戦中ナルニモ
カカハラス時折挑戰シ來リ居ルモ、大體ニ於テ、小康ヲ保チツツア

S 61927 798

○事件勃發以來各路聯合會並ニ在郷軍人支部ハ各方面ノ勤勞ニ從ヒ連日連夜不眠不休テ戰線ニ或ハ後方勤務ニ努力シ來リタルカ昨日第一水雷隊入港ト共ニ衛次警備方面モ十分準備足リルコトトナリタルヲ以テ陸戰隊先任參謀ハ次ノ如キ命令ヲ發表セリ

一 目今在郷軍人會員其他自衛團等軍部ノ補助ニ從事スルモノハ專ラ後方勤務トシ一切ノ直接行動ヲ禁止ス

右ハ各階級聯合會並ニ在郷軍人ヲ主體トスル所謂自衛團自衛團ナルモノカ勝手ニ腕章ヲ附シ、白笠、ピストル、拔身ノ大刀ヲ提ケテ所謂便衣隊ヲ藉口、通行ノ外支人ノ身體検査ヲナスハ勿論十分ノ取調

○便衣隊ノ出沒自在ニシテ危險。夜ニ入レハ虹口一帶ノ街燈ヲ全部消シ去リ宛ラ死ノ都ノ如キ感ヲ與ヘ居レリ

S 61927 800

警備

我軍ハ、沿滬線ニ沿ヒ、要處要處ニ堅固ナル陣地ヲ築クト共ニ砲子路文路方面ニ出沒スル便衣隊狩リニ没頭

二十九日以來砲火ノタメ並ニ便衣隊、中國正規兵等ノ放火ニヨリ、北四川路オテオン活動小舎附近一帶ハスチル路、閘北一帶ニ火災起リ、炎々トシテ、燃エツツアリ

○事件勃發以來各路聯合會並ニ在郷軍人支部ハ各方面ノ勤勞ニ從ヒ連日連夜不眠不休テ戰線ニ或ハ後方勤務ニ努力シ來リタルカ昨日第一水雷隊入港ト共ニ衛次警備方面モ十分準備足リルコトトナリタルヲ以テ陸戰隊先任參謀ハ次ノ如キ命令ヲ發表セリ

一 目今在郷軍人會員其他自衛團等軍部ノ補助ニ從事スルモノハ專ラ後方勤務トシ一切ノ直接行動ヲ禁止ス

右ハ各階級聯合會並ニ在郷軍人ヲ主體トスル所謂自衛團自衛團ナルモノカ勝手ニ腕章ヲ附シ、白笠、ピストル、拔身ノ大刀ヲ提ケテ所謂便衣隊ヲ藉口、通行ノ外支人ノ身體検査ヲナスハ勿論十分ノ取調

S 61927 799

二月一日

外交

○英米總領事ノ停戰調停遂ニ不調ニ終リ殊ニ停戰協議中ニモカカハ
ラス絶エス不法攻撃ヲ敢ヘテセル中國軍ハ遂ニ昨夜十一時過キヨ
リ猛烈ナル砲撃ヲ開始シ内一彈ハ我總領事館附近ニ落下スルニ至
リ、我方ハ愈々自衛手段ノ徹底的行使ニヨラスンハ租界ノ安全ハ
勿論在留邦人保護ノ重責ヲ全フスルコト能ハサル情勢トナレルヲ
思ヒ英米總領事及共同租界當局ニ對シ斷然自由行動ヲトルヘキ旨
ヲ聲明スルニ至レリ。

軍事

對峙ノ儘夜ニ入りタルカ、中國兵ノ横暴ハ遂ニ六三花園、大東街、
花園街（邦人多數居住）等ニ放火セル上掠奪ヲ恣ニシ同地方面ニ居
住ノ一邦人ハ遂ニ中國正規兵ニ銃殺サルルニ至ツタ。
昨夜便衣隊ノ猛射ヲ浴ヒタ我總領事館ハ午後六時半頃再ヒ猛射ヲ浴
ヒセカケラレタタメ御眞影ヲ安全ニ奉遷。

61927 801

○一連司令部ニテハ現地保護ノ重責ヲ全ウスルタメ三ヶ大隊ノ處更
ニ二ヶ大隊ヲ増加、鳳翔ヨリ上陸セル特別陸戰隊ハ第五大隊ニ編
入サル。

○廿九日ヨリ三十一日迄ノ我軍ノ戦死者並ニ重輕傷者數次ノ通り發
表サル

警備	戦死	重傷	輕傷	計
二〇	八二	九一	九三	

○共同租界市參事會ハ昨日會議ノ結果本日午後十時ヨリ午前四時迄
ノ夜間通行禁止ヲ實施スルコトトナリ布告ヲ發表。

○米國總領事ハ租界警備ノ充實ヲハカルタメ本國政府ニ對シマニラ
ヨリ増援部隊ノ派遣方ヲ要求セリ

經濟

○日華開戦後中國側カ二十九日ヨリ三日間ノ總罷市ヲ敢行セルカハ
本日市民聯合會及銀錢兩業公會テハ更ニ罷市繼續ヲ決議。

61927 802

交通

○上海市民聯合會チ、日本兵ヲ驅逐セサル限リ絶對ニ罷市ヲ取消サ
ヌ旨各商店ニ通告。

○物價ノ事變以來穀上リニ上リ約三倍トナルニ至ツタ

○事變以來中止中ノ共同租界ノ電車ハ二號系統ノミ運轉、バスハ中
止中。

法租界ハ整間ノミ電車バス共運轉開始。

其他

○上海實業界ノ巨頭虞洽卿、王曉籟、徐寄頓、秦潤卿、張嘯林、杜
月笙、史量才、陳光甫、胡孟嘉、張公權、劉鴻生、錢新之、等
地方維持會ヲ組織

商業秩序ノ維持金融ノ疏通、避難民ノ救済ニ當ルコトトナレリ。

○國民政府ハ軍事ヲ何懸欽ニ、外交ヲ羅文幹ニ一任、洛陽ニ移轉

○日本郵船、大連汽船等チハ中國軍ノ虹口方面砲撃並ニ便衣隊ノ橫
行ニ邦人ノ生命財產ノ危險増大。愈々婦女子ノ自發的歸國希望者
ノタメ本日ヨリ便宜ヲ取計フコトトナツタ。



61927

803

外交

二月二日

○陸戰隊ノ冲野少佐對外交渉擔任トナル

軍事

一遺司令部ハ本日次ノ如ク公表

「中國人ニ誠意ナキコトハ今更説明ノ必要モナイカ今回ノ日華軍隊衝
突事件ニ於テモ二十九日午後八時停戰約定成立後連日連夜我カ警備
區域内ヲ攻撃シテ居ツタカ一月三十一日夜十一時頃商務印書館附近
ヨリ野砲及小銃ヲ以テ攻撃シ一日午後一時ヨリ五時迄四時間ニ亘リ
北停車場附近ヨリ軟擧ナル射撃ヲ送り來レリ無誠意食言ノ中國軍隊
指揮官ハ停戰ヲ口實トシテ種々兵力ヲ集中ヲナシ我軍ヲ掩撃スル計
畫ヲアルコトカ明トナツタ之ヲ默視スルコトハ我カ軍ヲ危險ニ曝シ
スルコトトナルノテ二日朝取敢ヘス飛行機ヲ以テ中國軍隊ノ配備ヲ
ヲ偵察スルコトトナツタ。

斯クテ本日午後一遺司令官ハ全前線ニ對シ總攻撃令ヲ下スト共ニ閉止



61927

804

方面ノ敵軍ニ對シテ空陸ヨリ猛撃ヲ與フ
 ○海軍省テハ第一、第二遣外艦隊ノ外ニ華南ノ分ヲモ纏メテ第三艦隊ヲ編成スルコトトナリ司令官ニ野村中將就任、旗艦ハ出雲、
 經濟
 ○當地外國人經營銀行ノ買辦ハ協議ノ結果銀行業務繼續困難ヲ理由ニ外國銀行團首席チャータータード銀行ニ對シ三日ヨリ一齊ニ閉鎖スル旨申出テタ。

交通

事變以來電話交換手カ極度ニ惡化セルヲメ虹口一帶ハ勿論、セントラル方面ニ於ケル日本商社ハ殆ト、電話ヲ使用スルコト能ハサルニ至リ非難續出セルニ鑑ミ會社側ハロシア人、ポルトガル人等ヲ採用三口ヨリ就任セシムルコトトナツタ。

61927 805

外交

二月三日

○本日ノ市參事會ニ於テ日本軍カ租界ヲ軍ノ根據地トセルコトニ對シ問題トナツタカ工部當局ハ右ニ對シ日本軍カ租界ノ秩序維持ノタメトナラハ已ムヲ得サル處テアリ且ツ國家主權ヲ有セサル工部局トシテハ此ノ際抗議スル能力ナシト解釋日本ニ抗議セサルコトニ決定

軍事

○開北一帶江灣方面ニアル敵軍ハ午前九時ヨリ迫撃砲野砲ヲ以テ砲撃開始、北四川路、跑子路、吳淞路一帶ニ砲彈落下、我軍ハ空陸ヨリ猛烈ニ應撃、二十九日以來始メテノ激戦ト見ラル

○吳淞方面ハ昨日同地砲臺ヨリ我軍艦ヲ砲撃セルニ依リ、本日空ヨリ之ヲ爆撃スルト共ニ午後三時半陸戰隊上陸之カ攻撃ニ當ル

警備

○マニラヨリ上海ニ急行セル米國驅逐艦（ハウストン以下七隻）午後二時入港

61927 806

經濟

○外國銀行團ハ買辦團ノ申出ニ應セス本日モ引續キ營業

交通

○運轉休止中共同租界電車中、ブロードウェイ路系統本日ヨリ運轉開始



61927 807

二月四日

外交

米國公使ジョーンズ、英領代理公使イングラハム南京ニ於テ上海事件ニ關シ支那側ト往來策動あり

軍事

本日我軍ハ爾軍ヲ犯シテ總攻撃ヲ開始、早朝ヨリ全線ニ亘リ大激戦、爲メニ南北一帯ハ商務印書館以北賓興路迄、東ハ淞滬鐵路迄、更ニハスケル路喪失ヨリ橫濱橋一帯迄北四川路表通り一部ヲ殘シ完全ニ焦土ト化シ去ル

吳淞方面ハ午後一時半迄ニ城内及吳淞港ヲ擊破占領

○本日ノ我軍死傷ハ

戦死 重傷 輕傷

八 二〇 三四

○特務機關官ニテ陸戰隊一千名到着直チニ上陸

○午後二時敵ノ飛行機二機(二隊トモ謂ハル)飛來、我野砲陣地ニ投



61927 808

ニ開店、工部當局ハ同公會ノ要求ニヨリ右銀行及ゴードウソノ保護ニ
 當ルコトヲ言明、因ニ開店ハ當分午前九時ヨリ午後二時迄トス
 交通
 ○本日午後二時十分電信局ノ海底電線切斷ナル

S 61927 810

舞
 舞セルモ被串ナシ
 ○二日入港ノ米國アジア艦隊旗艦ハウストン號ハ陸戰隊三百名
 英國軍艦バーウイツク號モ同日ホソコンヨリスコツチ軍艦ヲ乗セテ
 入港何レモ上陸
 ○四日現在佛租界警備ノ佛軍ハ二千四百名
 ○西部紡績地帯ニハ邦人五千名居住シ居リ從來日本陸戰隊五百名ヲ駐
 屯セシメテ保護ニ任シテ居タカ今回ノ事變以來各國ト協議ノ結果同
 方面ハ米國ノ防備區域トナツタ關係ト、右日本軍力軍略上同區域内
 ニ於ケル工務局所有ノ建物ヲ占領セルコトヨリ米國側カラ抗議ヲ提
 出サレ三日以來英米日三者間ニ於テ種々協議ノ結果西部紡績地帯ノ
 防備ニ關シ具體的協定成立シ、日本軍ハ完全ニ撤退シ、米國軍ニヨ
 ソテ警備サルルコトトナツテ落著
 経
 三日迄閉鎖シ居タル華商銀行團ハ昨夜來徹宵協議ノ結果本日朝來一併

S 61927 809

二月五日

外交

上海事件ニ關スル英米佛ノ共同抗議ニ對シ昨日芳澤公使ヨリ帝國政
ノ回答ヲ三國ニ手交。

軍事

關北方面並ニ吳淞方面ニ對シ本早朝ヨリ空陸ヨリ砲擊爆發ヲ開始、双
方共敵戰

警備

○英國東洋艦隊司令官ケリト提督乗組ケント號入港（英國軍艦ハ總計
三隻）

○米國海軍輸送船チヨーモント號、陸軍一千二百名ヲノセ入港。
現在ニ於ケル米國ノ防備兵力六千名

經濟

○事件以來虹口方面北四川路方面ノ一般商店カ閉鎖セルニ乘シ吳淞路
筋ノ支那商中ニ暴利ヲムサホルモノアリ、總領事館ニテハ是等奸商

S

61927

811

調査ヲ開始

○租界ノ食糧状態ニ關スル工部當局ノ情報ニ依レハ

「馬鈴薯ノ状態モ漸次良好トナリツツアルカ、コレハ衛生處カ郊

外ニアル外國警備隊ト諒解ヲトケタ結果野菜賣ノ租界入りヲ自

由ナラシメタコト方與ツテ力アツタモノト見ラル

虹口マーケットトモ次第ニヨクナツテ來テキル（花、野菜、果物

肉等事實漸次豊富ニナリツツアル）

西部ノマーケットトハ依然調子ヨク品物モ豊富、商賣亦活況ヲ呈

シテホル

中央部モ都合ヨクイツテ居リ、東部マーケットトテハ梧州路東虹

口ノマーケットトハ殆ト商賣ナン平涼路マーケットトハ約五割ノ開

店。

交通

共同租界七號系統電車復舊ス。

其他

S

61927

812

○本日ヨリ虹口一帯ニ點燈スルコトナリ修繕ヲ開始セルカ、北四川路一跑子路以南一鴨綠路、吳淞路各一部今夜ヨリ點燈。

○時局前實行委員トシテ活躍セル辯護士衛藤隴三外二名ハ當地ニ於ケル安寧ヲ妨害スルモノト認メラレ、夫々在留禁止ヲ命セラレ。

○セントラル方面、法租界方面ニ於ケル邦人ノ通行危險トナル、本國民國路ニ赴ケル邦人四名行衛不明トナリ、更ニ北京路通行中ノ邦人二名群衆ヨリ毆打サレ重傷ヲ負フ。

S 61927 813

二月六日

外交

○事件以來便衣隊嫌疑者トシテ多數ノ良民ニ危害ヲ加ヘシコト漸次各方面ノ知ルトコロトナリ五日ノ市參事會ノ大問題トナリ討論ノ結果各國領事ヨリ成ル特別審判所ヲ設置シ右嫌疑者ハコレニ引渡シ審判ヲ乞ヒ處罰ハ國籍ニヨリ當該國官憲ニ引渡シ一任スルコトナリ我軍部モコレニ賛成具體案作製ニ取カカル。

但シ租界外ノ分ハ日本側ニ於テ處置スルコトトナル

軍事

○陸戰隊指揮官ニ植松少將任命。

本日着滬直チニ最前線視察。

次ノ如キステートメントヲ發表。

「時局甚シク悪化セルノ際、陸戰隊指揮官ヲ命セラレタルハ自己ノ責任甚タ大ナルヲ考フルモ難局ニ當リ得ルハ武人トシテノ本懐トスル處

S 61927 814

テアル。

上海租界ノ性質ハ自分ハヨリ承知シテキル。然ルニ英米其他ニ意見ノ相違セルモノアルト聞クハ意外トスル處テアル。

吾人ノ考フル處ニテハ今ヤ日本海軍ハ世界最悪ノ軍隊並ニ卑劣極マル便衣隊ニ對シ人類文明ノ擁護中國自体ノ軍閥ニ壓迫サレアル多數民衆幸福ノタメニ固リツツアルト思フ。

千九百二十七年猛然タル排英運動起ルヤ兵ヲ上海ニ集中セルモ、英米佛伊蘭西葡及ヒ日本ノ八ヶ國ニ及ヒ余ハ當時ノ日本陸戰隊指揮官トシテ英國タンカン將軍各參謀ゴルト子爵米國バトラノ將軍其他各國指揮官ト共ニ極メテ幽閉ナル協諒ノ下ニ共同租界防備ニ任シ佛租界ヲ守備セル佛國指揮官トモ歩調ヲ一ニシテ共產黨並ニ中國軍隊ノ計劃セル租界奪取及ヒ擾亂ニ對シ克ク租界ヲ守リ得タノテアル。

本年ハ當時ノ排英ニ代ツルニ排日ヲ以テセルノテアルコノ際斷乎トシテ惡軍隊ヲ排ハセサレハ次キ次キト各國ヲ備ヘニ苦シメ租界ハ常ニ不

S 61927 815

安ヲ續クルト思フ

兩三日前ヨリハ上海港ニ出入スル國際水路ニ對シ中國兵ハ脅威ヲ加フルニ至レリト云フ。之等ハ實ニ上海其他ヲ死滅セシムル不法行爲デア

ル東洋人ハ東洋人ノ心理ヲ良ク解ス

余ハ悉ル千九百二十六年中國ニ於テ起リカケタル排キリスト教運動ノ如キ今後來ルナキヤ。

其ノ空氣ハ一部ニ於テ濃厚ナルヲ認ム斯ノ如キ場合ニハ人類文明ニ對シテ實ニ由以救大事ト思フ。千九百年ノ義和團事件ハ夫レテアル。各國ハ良ク冷靜ニ阿片ニ中毒セル中國人ヲ詳シク検討スルノ要アリト思フ。

○午前ニ於ケル前線ハ稍小原午後空陸ヨリ關北一帶ヲ爆撃、午後六時中止。

S 61927 816

月日	一月八日	二月十九日	三月十三日
一般	金 金 合 業 事 會 ニ テ 決	金 融 市 場 立 合 行 ヲ 金 業 交 易 所 理 會 ニ テ 決	昨 日 ノ 決 議 ニ 基 キ 租 界 ノ 内 外 ヲ 問 ハ ス 總 龍 市 行 ハ ル
商		各 市 場 休 止 一 邦 商 銀 行 會 社 營 業	
業		上 海 市 商 會 總 龍 市 商 行 ヲ 決 議 ス	昨 日 ノ 決 議 ニ 基 キ 租 界 ノ 内 外 ヲ 問 ハ ス 總 龍 市 行 ハ ル
工	日 華 紡 績 吳 淞 工 場 閉 鎖	本 朝 六 時 ヲ 以 テ 邦 人 紡 績 工 場 全 部 閉 鎖 ス 工 人 ノ 動 搖 ナ シ	
勞			
働			
市			
場			
物			
資			

S 61927 817

日	一月二日	一月十一日	日
一	市 民 聯 合 會 及 銀 錢 兩 業 公 會 ハ 更 ニ 龍 市 總 績 ヲ 決 議 ス 實 業 界 ノ 巨 頭 ニ ヨ リ 地 方 維 持 界 ヲ 組 織 商 業 秩 序 ノ 維 持 金 融 ノ 疏 通 避 難 民 ノ 救 濟 ニ 當 ル コ ト ナ ツ タ		一 般 金 融 商 業 工 場 勞 働 市 場 物 資
金			
融			
商			
業			
工	外 支 紡 績 工 場 共 ニ 時 局 ニ ヨ リ 閉 鎖		
場			
勞		今 回 事 件 ニ ヨ ル 失 業 者 十 六 萬 ト 算 セ ラ ル	
働			
市			
場	南 租 界 共 米 價 騰 貴 一 等 米 十 七 元 九 角 日 來 四 元 五 角 高 麥 粉 每 袋 三 元 二 角 前 日 ヨ リ 六 十 仙 高 各 麵 粉 廠 共 原 料 缺 乏		
物			
資	肉 類 貯 藏 牛 八 七 羊 九 三 積 九 九 分 燃 料 貯 藏 充 牛 乳 幾 分 困 難 ナ ル モ 罐 詰 ニ テ 充 分 補 給 サ ル	工 部 局 屠 殺 場 屠 殺 牛 六 匹 積 三 五 豚 三 九	

S 61927 818

F-0174

38

日 三 月 二

月日	一
般	
金	外國銀行本 日ヨリ休止 外國銀行團 ハ買辦團ノ 申出ニ應セ ス本日モ引 續キ營業
商	
業	
工	
場	
勞	
働	
市	各マツケツ ト共食糧ニ 不足ナシ
場	
物	工部局屠殺 殺牛三四羊 一〇積六六 豚一六 佛工部局屠 殺數 牛五〇羊一 三〇積二六 豚九五〇 中國人需要 ノ爲二箇處 ノ私設豚屠 殺場ト枋樹 浦工部局屠 殺場テ相當 屠殺サル
資	

S 61927 820

37

日 二 月 二

月日	一
般	
金	火保契約ハ 殆ト禁止料 率(千圓ニ 付廿三圓以 下ハ引受拒 絶) 外人銀行ノ 買辦ハ協議 ノ結果業務 繼續困難ヲ 理由ニ外銀 團首席子ヤ 一タ下銀 行ニ對シ三 日ヨリ一齊 ニ閉鎖スル 旨ヲ申出ツ
商	上海紡績ノ 身替テ粗布 ノ引合旺盛
業	
工	
場	
勞	
働	
市	
場	
物	
資	

S 61927 819

F-0174

0078

日	五	月	二	明
				一
				殺
				金
				廠
				商
				業
				工
				場
				券
				働
				市
				場
				物
				資

事件以來虹
 口、北四川
 路方面ノ一
 殺商店カ閉
 鎖セルニ乘
 シ吳淞路筋
 ノ邦商中ニ
 暴利ヲ食ル
 者アリ總領
 事館ニテ奸
 商調査ヲ開
 始

工部局情報
 ニヨレハ虹
 口マケツ
 ト漸次恢復
 シツツアリ
 西部方面マ
 ケツト商
 賈活況アリ
 中央方面マ
 ケツト商
 況良好
 東部方面マ
 ケツト在
 虹口マケ
 ツト營業ナ
 シト平涼路
 マケツト
 五割營業

工部局ノ情
 報ニヨレハ
 衛生部カ郊
 外ニ在ル外
 國警備隊ト
 諒解ヲ遂ケ
 タ結果野奈
 賢ノ租界入
 フ自由ナラ
 シメタ結果
 馬鈴薯其ノ
 他ノ供給良
 好トナリツ
 ツアル

S 61927 822

日	四	月	二	月
				日
				一
				殺
				金
				廠
				商
				業
				工
				場
				券
				働
				市
				場
				物
				資

一般海上危
 險割増徴收
 (戦時保険
 卜別個ニ上
 海向船舶ニ
 對シ)
 上海寄港ノ
 積荷料率引
 上(百圓ニ
 付七錢五厘
 ラ十二錢五
 厘ニスル)
 三日マテ閉
 鎖セル華商
 銀行團ハ三
 日夜來徹宵
 協議ノ結果
 本日朝來一
 齊ニ開店當
 午前九時
 ヨリ午後二
 時迄ス

S 61927 821

日 月	二 月 八 日
一	
般	
金 融	南替屋營業開始
商 業	支那食糧品店、飲食店營業開始 市商會ヨリ各同業團體ニ開市勸告
工 場	日華紡績ハ舊正休業後引續キ休止ノ旨發表
勞 働	南市電話會社従業員ハ二月三日ヨリ八日ニ至ル毎日五十仙ノ増給要求會社ハ之ニ應ス 共産黨宣傳文(印刷ニアラサル) 西部地方ニ四種貼付セラル
市 場	米假ハ(九日下同様)東部地方ノ低廉ナルハ消費者ノ減少ニヨルモノナリ 租界内マーケツト全部營業
物 資	九千擔ノ米龍華 Ninghsang 附近ニ四十九隻登載、緊船近日中南市ニ搬入ノ豫定

S 61927 824

日 月	二 月 七 日	二 月 六 日
一		
般		
金 融	華商銀行ノ金融安定策トシテ各銀行ノ租界内財産(五千萬元)保管委員會組織サル	
商 業		
工 場		
勞 働	Doong Shing 第一工場 Kitaru 紡績工場ノ罷業委員十名會合未配給ニ關シ論議セリ	
市 場	食糧品ボツボツ販賣サ 舊正ノ爲マ一ケツト開散ナルモ物資甚シキ缺乏ナシ	
物 資		食糧品運搬困難

S 61927 823

42

日一月二	日十月二	日月
		一
		般
	諸市場立會 困難	金
相場、磅一 志一〇片 弗、卅二弗 5/8圓百十 兩半 金塊相場寄 付六百七十 七兩 引値六百七 十六兩八匁 高値六百七 十八兩八匁 安値六百七 十六兩五匁	融 商 業 工 場 勞 働 市 場 物 資	
	市場ニ初メ テ花、植木 鉢搬入サル	

S 61927 826

43

日九月二	日月
	一
	般
	金
支那銀行本 日ヨリ開業 セルモ爲替 市場ハ休市 同様 一人宛二百 兩迄制限附 支拂	融 商 業 工 場 勞 働 市 場 物 資
	日、支、外 國紡績工場 依然閉鎖狀 態
	上海ニ於ケ ル米價 支那米 特等 (品切) 上等 (品切) 並等 十六弗 サイゴン米 特等 十五弗 上等 十三弗 並等 十一弗 各市場共ニ 割カ開店營 業、野菜ノ 供給ハ充分 ナリ
	東部地方 支那米 特等 十六弗 上等 十五弗 並等 十四弗 サイゴン米 特等 一三弗 上等 一三弗 並等 一二弗

S 61927 825

F-0174

0081

45

日四十月二	日三十月二	日二十月二	日月
			一
		金融 替強調 縮り爲	般 金 融 商 業 工 場 勞 働 市 場 物 資

S

61927 827

F-0174

0082